

事業所名	幼児教室 とことこ		公表日 2025 年 2 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・利用児2名に対し必ず1名の職員が担当しており、手厚く支援が行き届いていると思う。 ・職員状況により、ボランティアをお願いし、こどもに負担がないようにしている。	・低年齢のクラスなど手のかかる子が多い時は、職員数が足りないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・ロッカーやタオル掛けに自分のマークが貼られたり、絵の支援表が貼ってあり、こどもが視覚的に理解できるようになっている。 ・必要に応じて絵カードなどを使って示している。	・活動が始まったら、おもちゃが完全に視野に入らないスペースがあるとよい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	・療育の空間は広いと思う。 ・施設自体は古いが、掃除はきちんとしており、おもちゃや教材の消毒もきちんとしている。	・収納が圧倒的に足りないため、物の置き場は苦労している。 ・収納スペースが少なく物が多いため、こどもの手が届いてしまい、いたずらしている場面が見られる。 ・どうしてもおもちゃや教材が煩雑になってしまうので片付けるよう心掛けているが、やりきれないと感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	5		・クールダウンや個別対応など、落ち着ける場所があるとよい。（今は玄関スペースで対応している） ・ワンフロアで空間は広いのでパーテーションがあると有効に利用できると思う。 ・使えるはずの空間に教材などを置いてしまいがちなので、注意していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・職員会議などの時に全体に伝達があり、教えてもらっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・事務局長や室長との面談がある。全体に向けての報告もあり、各自の心構えの見直しとなっている。 ・様々な議題の話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・新人研修があったり、常勤職員が様々な研修を受講し、会議にて報告したりしてくれている。 ・必要な研修は計画的に行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・アンケートや保護者との面談等で意向を聞き（アセスメント）、児童発達支援管理責任者の下で常勤職員が支援計画を作成し、口頭で説明を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・毎日の記録やそれぞれの職員の意見を基に作成している。 ・常勤職員を中心に支援の方法を検討し、ケース会議なども行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・大切にしたいポイントを会議で伝え実行している。日々その子に適切な支援方法を探り、職員間で共有し、目標達成のために努力している。 ・常に職員間で声掛けして共有し協力することで、支援計画に沿った支援を行っている。 ・記録用ファイルに保管され、職員の誰もが確認出来、直近で実践してほしいことなどが伝達される。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・毎日記録を残し、全員に周知が必要なことは別紙や備考欄に注意事項として特記している。 ・領域に沿った記録用紙に記入することでアセスメントに繋がっている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	(未記入1名)	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・例年の物を参考に常勤職員間で話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・午前は基本的に流れを変えずに過ごす。午後は月ごとに予定表があり毎日違うプログラムを行っている。 ・その季節ごとのイベントや製作、いつもと違う公園に行くなどの工夫もしている。 ・季節感のあるプログラムと毎日取り組むプログラムがバランスよく取り入れられている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	・集団プログラムの中で個々に合わせた支援活動を行っている。	・個別指導の時間はないが、集団活動の中で個々に合わせた声かけや教材作りをしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝礼で一日の支援の流れを確認したり、こどもの担当を話し合っていて決めている。 ・前回担当した職員からのアドバイスを受けて、当日担当するこどもの支援のポイントを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・記録を書きながらその日あったこどもの様子などを振り返り、共有している。 ・特記すべきヒヤリハットの案件などはすぐに職員間で共有している。	・出来る限り行っているが、状況によって出来ない日もあったりする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・気になることはメモをして、記録を基に常に話し合い内容を検証、改善している。 ・記録は次回保育前に読み参考にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童発達管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・必要な関係機関と連携を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・こどもの併用している園とお互いに見学を合せて情報交換をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・就学支援シートの作成等を行い申し送りをしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/	/		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	・センター主催の研修などに参加している。		



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	・近隣の保育園の園庭開放や児童館へ行くなどの交流を行っている。	・就学に向けて支援級を希望している子もいるので近隣の支援級との交流があるとよい。 ・未就園児のクラスは児童館の参加はあったが、園との交流も行ってみたい。 ・こどもの特性上、交流が難しい面もある。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・日々保護者とコミュニケーションを取り進めている。 ・家での困り事などを聞き、療育でうまくいったことを伝え、家庭での支援方法のヒントにしよう。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・心理士の来訪の時、勉強会を設け、家庭で実践出来ることなどのアドバイスをもらっている。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・入室説明会で説明をしている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・保護者からの意向、要望を事前にアンケートで聞きアセスメントを行い、支援計画に反映させている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・説明後、同意のサインを頂いている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・困ったことや悩みごとの相談は、電話でも対面でも随時受けている。 ・日常的に保護者の話を聞いており、保護者の異変にも気を配っている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・保護者間の連絡係を決めLINEグループで繋がる方法を進めている。 ・行事や親子遠足、保護者会などを通して保護者同士の交流の機会を作っている。 ・クリスマス会では保護者の出し物を提示してお願いし皆さんに参加して頂いた。そういう場面でも親睦を深められていると思う。	・まだこどもが小さいこともあり、兄弟間の交流は難しい。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・随時、相談をうけている。利用日でない日の相談でも電話やメールなどで対応している。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月のお便りを出して、行事やクラスの活動の様子を発信している。 ・LINEで療育の様子を写真で送ることで、保護者に喜ばれている。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・利用者氏名の入っているものはすべて教室内のシュレッダーで処理している。 ・個別情報の書類、パソコンは鍵付き書庫に保管している。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・忙しくしている保護者に対して、前日にメール等で再度行事のお知らせなどしている。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	・地域住民の皆様様に散歩や公園で出会った際は、声かけしている。	・対象児が小さいこともあり、地域住民を招待するのが難しいが、今後検討していきたい。 ・児童館、敬老館、近隣保育園等行事の際に招待し交流できないか検討したい。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・所内研修で、マニュアルのプリントを用いて実践で理解を深めている。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・室内中央に集まる→頭巾を被る→靴を履く→外に出る…という訓練を行っており、未就園児クラスは年間を通して順に慣れていくようにしている。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・入所時に服用している薬、予防接種、てんかん発作などの確認している。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・食物アレルギーについては保護者に書類を提出していただき、丁寧に聞き取り、職員間で情報共有している。個別記録にも注意書きとして明記している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・散歩のコースの地図で安全確認ができるようにし、当日の状況を記録している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・保護者会でお話したり、お便りのプリントを配布し、周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・危ないと感じた事例はヒヤリハットに記録し、職員間で共有している。また記録はいつでも見られる様になっている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・こまめに所内研修を行い、職員間で話し合っ て虐待防止の意識を高めている。 ・事例をあげ、いつでも誰でも、し得る可能性 があることを心に留めて療育することを常に確認し 合っている。 ・外部研修を受けた職員からの報告もある。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2	・とことこでは身体拘束はしない方針を取っている。	